

校長室より

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼教之

「二松から飛翔へ」

「一戦必勝で戦いぬく」

報道等で紹介の通り、野球部の選抜旗の授受と都庁への報告が終了しました。あとは 3 月 10 日の抽選を踏まえ 18 日からの開幕を待つばかり。今年は、マネージャーの校名プラカード紹介や選手の入場行進も見られそうに徐々に大会への期待も高まってきました。野球部の選手諸君は練習にも熱が入ることでしょう。全校をあげた応援の準備も着実に整えていきましょう。

15 日に授与された選抜旗ですが、主将の押切君と立野部長先生と私の三人で、報告に都庁を訪問しました。小池都知事からは、「両校（東海大管生と本校の）対決、東京決戦を期待したい」との激励のコメントをいただきました。押切君からは「一戦必勝で戦い抜く、選んでいただいたことに感謝し、良い結果を報告したい」と挨拶をしてくれました。

ところで押切君の身体が巨大化していたので、「今年の秋から一回り大きくなったでしょ。」と尋ねてみました。するとやはり、筋力を増強するため、身体を作ってきたとのこと。「打撃では飛距離が出るようになり、投球では球が伸びるようになった」と、頼もしい回答でした。きっと野球部のみんながこの冬に身体づくりからトレーニングを積み、一段とパワーアップしたことでしょう。益々、大会での活躍が楽しみです。

応援よろしくお願ひいたします。

校長室には、昨年と今回の選抜旗と昨年の選手権大会（夏季）の都大会優勝旗が飾られています。



今度生まれて来るときは

「今度生まれて来るときは〜♪」というフレーズで、団子三兄弟の歌を思い出しました。

今、生まれ変わりの TV ドラマにはまっています。『ブラッシュアップライフ』という名のドラマです。

もうずっと前ですが、手塚治虫の『ブツ』というアニメ？を見た記憶がふっと頭に浮かんでくる時があります。主人公が一生を終え、来世では違う個体に生まれ変わる。それも人間ではなく、魚だったと記憶しています。仏教には“輪廻転生”という考え方があって、生き物は生まれ変わるという思想があります。『ブツ』はそれをアニメ化したもので、記憶のどこかに、「あ〜人は生まれ変わるんだ〜」とぼんやり意識していました。もし人間以外ならば、今度は鳥がいいかななどとイメージしていました。大空を自由に飛翔する鳥はなんか素敵かな。でも毛虫を食べるところを想像するとそれは嫌かななんて。

再びドラマの話。好きな女優さんが演じていることもあり、面白く見えています。脚本がお笑い芸人のバカリズム氏というのも中々面白い。ご覧になっていない人に少し紹介すると、平凡な生活を送っていた 30 代の女性がある日突然交通事故による不慮の死を遂げる。亡くなると閻魔大王ではなく、あの世への案内人が次の生まれ変わりを告げる。与えられた生まれ変わりは人間ではなく「大アクリイ」。流石に大アクリイはなあと逡巡していると、人生をやり直す選択枝もあるという。徳を積むと次の生まれ変わりが良く？なるかもと案内人から聞かされ、2 周目の人生を赤ん坊からやり直す。やり直しの際には、前世の記憶はすべて覚えているといった想定で、徳を積み人生を変えながらやり直すけど、二度、三度（今のところ 3 回）と事故で死ぬ。2 周目は魚の「サバ」、3 週目は「ムラサキウニ」と奇想天外な生まれ変わりを告げられるというストーリー。

まあドラマはこの後のお楽しみといったところですが。我々は死後、どうなるのかわからないし、人間以外の生物に生まれ変わるのかもしれないけれど、今を一生懸命生きているのか？ 振り返ってみる機会となりました。日々を真剣にそして悔やみながらも、「あ〜今日は充実していた」と思える毎日を過ごすことが大事だなあとドラマを観ていてちょっと感じました。

現在、環境問題は悪化の一途をたどり、科学技術は AI が生き方を教え、自己の正義だけを主張する大国の指導者など、様々な不安に直面しています。こうした状況でも希望をもって生きることが必要でしょう。希望は我々が作り出すもの。自分にできること、すべきことを考え、投げやりにならず生活を過ごしていくことが大切ですね。